

埼玉県看護協会

東部支部 news

2025
vol.02

さいたま 看護デー 2025

東部支部広報担当

獨協医科大学埼玉医療センター 白鳥 一樹



5月9日金曜日、今年も新越谷駅コンコースをお借りして「看護デー2024」を開催しました。

5月12日は「看護の日」と制定されています。これはフローレンス・ナイチンゲールの誕生日であり、1990年当時の厚生労働省が、看護や健康に対する国民の意識向上と、地域の人々の健康やケアへの関心を高めるために、人をケアする心や助け合う心、私たち看護師の持つ知識をたくさんの方々に広めて行くことを目的として制定されました。

イベントでは、健康に関するパンフレットや看護の日グッズを配置し、血圧測定・体脂肪測定や健康相談のブースを設けました。開催時間は午前11時から午後13時までの2時間でした。健康相談に来られた方の相談内容としては、睡眠や血圧、持病についてなど、普段生活で気になっていることなどがありました。相談後は「安心しました」や「ありがとう、助かりました」という言葉が聞かれました。血圧・体脂肪測定や健康相談に来られた方は 名、パンフレットや看護の日グッズをお持ちになった方は 名と合計 名を超える多く方に参加していただくことができました。

このような看護のイベントが、地域の皆さまの健康を守ることとなり、学生や子供たちには看護の日を通して、看護師になりたいという夢や興味関心につながっていくことを実感し、今後も継続して活動をしていきたいと感じました。



編集後記

今年度の看護の日イベントでは、多くの地域の方にご参加いただき、温かい交流の場となったことを嬉しく思います。今後も地域に寄り添う看護を目指して活動してまいります。

[制作・編集担当 白鳥 高瀬 久保田]